

1 主題 友情〔2－（3）友情〕

2 資料名 「二わのことり」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目2－（3）は「友達と仲よくし、助け合う」ことをねらいとしている。友達は、互いにかかわり合うことにより、心が通じ合い、そこに確かな友情が生まれる。それがあってこそ心の安定が図られ、楽しい生活が送れるのである。友情を育むためには、自分から仲よくしようと相手に働きかける気持ちや、相手の立場に立ってその心情を思い、温かい気持ちで接することが大切である。しかし1年生はまだ自己中心的であり、周りの人から大切にされたい気持ちが強くわがままになりがちである。そこで困っている友達がいれば助け、相手が喜ぶ様子を見て共に喜んだり、頑張る友達を励まし、その成果を共に喜び合ったりして、仲よく生活しようとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

(平成25年11月7日調査 第1学年\*人)

・ともだちにしてもらってうれしかったことはありますか。	・ある *人 ・ない *人	・にもつをはこんでくれた *人 ・ころんだときたすけてくれた *人	・いっしょにあそんでくれた *人 ・その他 *人
・じぶんがしたことでもだちによこばれたことはありますか。	・ある *人 ・ない *人	・ものをかしてあげた *人 ・ものをひろってあげた *人	・きゅうしやくのよいいをしてあげた *人 ・その他 *人
・こまっているともだちがいたら、あなたはどうしますか。	・たすける *人	・はなしをきく *人	・わけ・かわいそうだから *人 ・たいへんだから *人 ・その他 *人

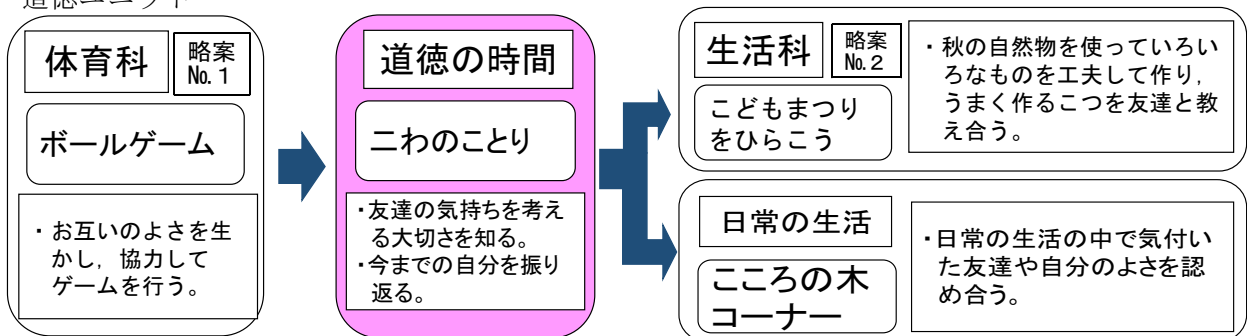
調査の結果から、ほとんどの児童が友達と助け合う体験をしていることが分かった。また、「困っている友達がいたらどうするか」という問いに対して積極的に関わる対応を取ると答えており、友達に対して親切な行動を取ろうとしていることが分かった。しかし普段の様子を見ると、声かけができる児童も見られるが、自分の興味・関心を優先してしまい見て見ぬふりをするなど、友達の立場に立って接しているとは言えず、意識と実態に差が見られる。

(3) 資料について（資料名「二わのことり」文溪堂 1ねんせいのどうとく）

みそさざいは山奥に住むやまがらから誕生日に招待されていたが、友達につられ近くの梅林に住むうぐいすの家へ音楽の稽古に行ってしまう。しかし、みそさざいは一人ぼっちのやまがらのことが気になり、そっと抜け出してやまがらの家へ行く。そしてやまがらはみそさざいが来てくれたことを心から喜ぶ、という話である。

登場する鳥たちの姿は、友達の気持ちを考えて迷ったり、つい周りに合わせて行動してしまったりと、児童の普段の生活に近く共感しやすい。また、みそさざいがやまがらを思いやる気持ちや行動を中心として描かれており、友情の温かさを感じ取ることができる資料である。資料提示の工夫や役割演技などを通し、登場人物に十分共感させることで友達の喜びが自分の喜びにつながることに気付かせ、ねらいとする価値に迫りたい。

4 道徳ユニット



5 本時の学習

(1) 目標

友達の気持ちを考えることの大切さに気づき、仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。

(2) 自尊感情を育むのための手立て

- 共有体験を実感させるために、円弧で前を見られる学習形態を工夫する。 (共視)
- やまがらとみそさざいの役割演技を行い、友達を思いやる気持ちを実感させる。 (共感)
- 友達に関する歌を歌い、動作化することで児童の友達の気持ちを考えて行動しようとする気持ちを高める。 (共感)
- 児童の発言を受容的に受け止め、児童の自己受容を深める。 (自己受容)

(3) 準備・資料

挿絵 ペープサート やまがらからの手紙 ワークシート 心の表情カード

(4) 展開

欄	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 (◆ <small>聴覚視覚</small> の位 ※評価)
5	<p>1 友達との生活を振り返って話し合う。</p> <p>○ 友達がいてよかったなと思ったことはありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転んだときに「大丈夫？」と言ってもらってうれしかった。</li> <li>・ 給食を友達と一緒に食べるとおいしく感じる。</li> <li>・ 一緒に遊んでいると楽しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達がいてよかったと思ったことを思い起こさせ、ねらいとする価値への方向付けをする。</li> <li>・ 発言が出にくい場合はアンケートや日頃の児童の観察の中から出来事を取り上げる。</li> </ul>
25	<p>2 「二わのことり」を読んで話し合う。</p> <p>○ どちらに行こうか迷っていたみそさざいは、どうしてうぐいすの方に行ったのでしょうか。</p> <p>○ うぐいすの家にいるみそさざいはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>◎ 喜んで迎えてくれたやまがらを見て、みそさざいはどう思いましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やまがらの家は遠いし、ちょっと暗いんだよな。</li> <li>・ どっちも友達だけど、先にうぐいすと約束したからな。</li> <li>・ うぐいすの家は梅の花がきれいにさいているだろうな。</li> <li>・ 片方だけ行くのは悪いけど、みんなはうぐいすの家に行くからぼくもそうしよう。</li> <li>・ やまがらは誕生日なのに一人ぼっちなんだな。</li> <li>・ みんなうぐいすの方に来ちゃったからやまがらはさびしいだろうな。</li> <li>・ 歌の練習が終わったからぼくだけでも行こう。</li> <li>・ やっぱり来てよかった。</li> <li>・ 遅くなってごめんね。</li> <li>・ 遅くなったのに怒ってないんだね。</li> <li>・ やまがらが喜んでくれてうれしい。</li> <li>・ みんなにも声をかければよかったかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面絵とペープサートを使って読み聞かせ、対照的なうぐいすとやまがらの家の様子に気付けるようにする。</li> <li>◆ 円弧に並んで前を見られる学習形態を工夫し、共有体験を実感させる。(共視)</li> <li>・ ペープサートのみそさざいを動かしながら問かけ、二人の友達から同時に誘われて悩みみそさざいの多様な思いを引き出す。</li> <li>・ 心の表情カードを使ってみそさざいややまがらの気持ちをカードで表し、黒板に掲示することによって二羽の気持ちを視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・ みそさざいは、うぐいすの家でどんなことを考えていたかを想像させる。</li> <li>・ 誕生日に一人ぼっちで過ごすやまがらの挿絵を示し、やまがらの気持ちに寄り添えるように支援する。</li> <li>・ みそさざいの気持ちをワークシートに書かせることによって自分の考えを整理させ、友達を思いやる気持ちが自分の喜びにつながる場合があることに気付かせる。</li> <li>◆ 役割演技を行い、友達を思いやる気持ちを実感させる。(共感)</li> <li>※ やまがらを思いやるみそさざいの気持ちを十分に考えることができる。(ワークシート・観察・発言)</li> </ul>
10	<p>3 今までの自分を振り返り友達関係について考え、話し合う。</p> <p>○ 友達のためを思っていたことやこうすればよかったなと思うことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達が一人でいたから「遊ぼう」って言った。</li> <li>・ 友達が転んだときに、保健室に連れて行ってあげた。</li> <li>・ けんかして、すぐ謝れなかった。</li> <li>・ グループには入れなかった友達がいたけど声をかけなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験を発表し合うことで、助けられたり励まされたりした時のうれしい気持ちや相手が喜ぶのを見て自分もうれしくなった気持ちを思い出せるように支援する。</li> <li>※ 自分たちの友達関係について想起し、友達の気持ちを考えようとすることができる。(観察・発言)</li> </ul>
5	<p>4 「ともだちはいいもんだ」を全員で歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなの顔がよく見えるよ。</li> <li>・ 手が温かいね。</li> <li>・ いい歌だね。</li> <li>・ みんなで歌うと楽しいね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 友達に関する歌を円になって歌いながら動作化することで歌詞の意味の理解を深めるとともに、児童の発言を受容的に受け止め、児童の自己受容感を高める。(共感・自己受容)</li> </ul>